

令和5年度 学校目標とその具現化に向けて

八戸市立根岸小学校

1 学校目標

『より良く変容し 互いに認め喜び合える児童の育成』

レッツ トライ! 根岸戦隊 かわるんジャー (児童の目標)

教育目標「かしこく やさしく たくましく」の具現化に向けて

様々な教育活動の中で、児童一人一人がめあてを明確にもち、自ら挑戦したり主体的に行動したりする活動を通して、少しでもより良く変容できるようにすると共に、その変容を互いに認め喜び合える意図的な**しかけ (めあてのもたせ方) (場の設定) (振り返らせ方)**を工夫することで、**成就感・達成感を味わわせ、児童一人一人の自尊心や自己有用感、より良い他者意識を育てていく。**

教職員

◇より良く変容し⇒児童一人一人を少しでもより良く変容させる (できないことができるようになる、できていたものを更に伸ばす等) ための

しかけ (めあてのもたせ方) (場の設定) (振り返らせ方)

◇互いに認め喜び合える児童の育成⇒互いに認め喜び合わせるための
しかけ (場の設定) (振り返らせ方)

児童

自分をより良く変えるためには、変えようとする意志が必要!

◇根岸戦隊⇒自分の弱い心「無理」「めんどくさい」「恥ずかしい」「あきらめ」と戦い (時には仲間と協力して)

◇レッツ トライ!⇒「やってみる」「がんばる」「挑戦してみる」

◇かわるんジャー⇒自分を少しでもより良く変身させる

保護者・地域との共有 (共育)

〔重点施策〕

①「めあてをもって学ぶ子」の具現化に向けて

○授業の充実

・主体的・対話的で深い学びを実現する指導の工夫・改善

(校内研修と関連させて)

○基礎力を高める場の充実

・基礎的・基本的な知識・技能の定着、表現力の育成

②「相手のことを思いやる子」の具現化に向けて

○特別活動の充実

・子どもの居場所づくり絆づくりを意識した学級活動、児童会活動、集会活動の工夫

○キャリア教育の充実

・キャリアパスポート等を活用した自己の成長を実感できる場の設定

③「じょうぶな体をつくる子」の具現化に向けて

○体育的活動の充実

・粘り強く多様な運動に取り組める体づくりの推進

〔評価基準〕

教師の自己評価(4段階)で、「あてはまる・概ねあてはまる」と肯定的に回答した教師の割合が80%以上をA評価とする。60%未満をC評価とする。その際、児童の自己評価・保護者・地域関係者からのアンケート(4段階)を加味にする。「よい・概ねよい」の評価を合わせて80%以上をA評価とする。60%未満をC評価とする。

2 取組の具体内容・指導の場・重要ポイント

①「めあてをもって学ぶ子」の具現化に向けて

○授業の充実

- ・主体的・対話的で深い学びを実現する指導の工夫・改善(校内研修と関連させて)

「自分のこととして課題解決する子の育成」を目指し、主体的に課題解決できる授業づくりを進めるとともに、互いのより良い変容を認め合える場を設定することで、自分の変容を実感できるようにする。

○基礎力を高める場の充実

- ・基礎的・基本的な知識・技能の定着、表現力の育成

「パワーアップ週間・パワーアップテスト」「ねぎしっ子スタンダード」「朝の活動【かわるんジャータイム(学習・読書)】」において、それぞれの役割やめあてを児童一人一人と共有して取り組ませ、互いのより良い変容を認め合える場を設定することで、自分の変容を実感できるようにする。

②「相手のことを思いやる子」の具現化に向けて

○特別活動の充実

- ・子どもの居場所づくり絆づくりを意識した学級活動、児童会活動、集会活動の工夫

みんなのためという視点で自分たちで考えて、「学級活動」「児童会活動」「朝の活動【かわるんジャータイム(集会活動)】」を主体的に実践させ、互いのより良い変容を認め合える場を設定することで、自分の変容を実感できるようにする。

○キャリア教育の充実

- ・キャリアパスポート等を活用した自己の成長を実感できる場の設定

キャリアパスポートを活用することで、自己の成長を振り返らせるとともに、互いのより良い変容を認め合える場を設定することで、自分の変容を実感できるようにする。

③「じょうぶな体をつくる子」の具現化に向けて

○体育的活動の充実

- ・粘り強く多様な運動に取り組める体づくりの推進

「教科体育」「朝の活動【かわるんジャータイム(運動)】」において、一人一人のめあてを明確にして多様な運動に取り組ませるとともに、互いのより良い変容を認め合える場を設定することで、自分の変容を実感できるようにする。